

第10回政策推進会議報告

日時 8月20日 9時30分～10時3分
場所 4-1会議室
出席者 16人

1 平成24年度尼崎市防災総合訓練について

総務局長代理出席者（企画管理課長）から資料に基づき報告。（以下、質疑等）

（市長）一時避難場所として民間施設を増やしているが、今回の訓練では、どのように連携するのか。

総務局長名で訓練の実施を通知しており、当日9時50分のサイレンに合わせて、各避難所に確認してもらうようにしている。

（市長）各施設の参加の確認は行うのか。

特には行わない。

（市長）協力していただける避難所の状況を把握するいい機会である。双方向で状況確認できるよう取り組んでもらいたい。訓練に参加する職員は一部であるが、全職員向けには何か行っているのか。

防災週間ということもあり、自分の配備体制や連絡先などを記載したカードを作成し、折りたたんで名札ケースに入れてもらうよう副市長名で通達した。

（市長）このところ大雨に関する警報が出ているが、状況はどうか。

気象警報が出ると防災対策課の職員が登庁し、情報把握に努めている。

8月18日の大雨により、小田地区の一部で床下浸水や倒木が1本、中央中学校の西側の電線が垂れ下がり、長洲線JRの高架下部分がやや冠水しかけた。

（市長）他都市からの応援要請はないか。

現在のところはない。

（市長）人的被害がないのは何よりであるが、各地でゲリラ豪雨が頻発しており、これからも台風の季節が続くので、各対応をお願いする。

2 平成24年度学力・生活実態調査について（速報）

教育長から資料に基づき説明。（以下、質疑等）

・小6から中2まで経年比較ができるようになってきているが、たまたまこの学年がよかったという分析ができるのではないか。また、家での宿題について、平成22年の小6で92.8%だったのが、平成24年の中2で83.8%となるなど、ある種の傾向値があると思うので、この分析も意味を持つのではないか。

同じ学年を3年行うのは、そういった目的も含んでいる。どの子が伸びたかや、どの学校が伸びたのか、また、学年によっても、この学年は良かったといった場合もある。

・学力向上クリエイト事業に取り組んでいるが、全体的に理科が弱いので、この分析を活用してもらいたい。

（市長）理科が低いのは、全国的な理科離れと何か関係しているのか。

全国と比較して高いか低いかは分からないので、12月の報告で分析してみたい。

- ・小6が3,676人で中2が3,278人と生徒数が400人も違いがあるが、私立中学に行くため減っているのか。

市内の生徒数は横ばいの状況であるが、尼崎市の生徒が国公立あるいは私立に進学するのは12%で、西宮、伊丹、芦屋と比較すると低いほうである。ちなみに、国全体では8%、県内は9%であり、本市は私立等に進学しやすい地域にあるのも一因と見られる。市内中学の学習指導が信頼されていないようにも見られるので、さらなる学力・生活実態の向上に努める。

3 その他

- ・企画財政局長から、兵庫県政に対する要望及び小林可夢偉応援バスツアーについて報告

以 上